

○岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター医療事故など包括公表について
(令和4年度)

当センターの公表基準に基づき、令和4年度中に当センターで発生した医療事故のうち、包括公表となる事例は下記のとおりです。

記

医療行為別	事 例	防止策
治療・処置	・治療のため両足の内反足矯正ギプス固定を行った。後日ギプスの巻き直しのためギプスを除去したところ、右大腿の腫脹と発赤を確認。レントゲン撮影により右大腿骨骨折が判明した。	・骨折の発生日時と原因は不明であるが、関節拘縮があり、骨折のリスクが高い患者に対しては、常に骨折に注意しながら診察を行う。

○岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター医療事故など包括公表について
(令和3年度)

当センターの公表基準に基づき、令和3年度中に当センターで発生した医療事故のうち、包括公表となる事例は下記のとおりです。

記

医療行為別	事 例	防止策
治療・処置	・病室で理学療法を実施するにあたり、患児の家族に座位保持装置調整のための介助を依頼中に、患児の啼泣を確認。その後の入浴等でも四肢などに明らかな所見は見られなかったが、翌日に足の付け根の腫れ等を確認、その後のレントゲン撮影により骨折が判明した。	・骨折の時期や原因は不明であるが、家族の介助について逐一目を配り、職員の対応についてもより一層注意していく。

○岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター医療事故など包括公表について
(令和2年度)

当センターの公表基準に基づき、令和2年度中に当センターで発生した医療事故のうち、包括公表となる事例は下記のとおりです。

記

医療行為別	事例	防止策
治療・処置	・手術後の患者のリハビリテーション中に、患者が突然椅子から立ち上がって走り出し、患者自身の松葉杖に左足趾をぶつけて骨折した。	・衝動で動き出してしまう患者には、声掛け・見守り・安全確保を徹底する。
	・手術予定の患者に対し、手術前診察の際のレントゲン撮影で骨折が判明したが、既に骨癒合していた。	・診察においては特に問題は発生しておらず、どの時点で骨折が発生したか不明であるが、より一層注意する。

○岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター医療事故など包括公表について
(令和元年度)

当センターの公表基準に基づき、令和元年度中に当センターで発生した医療事故のうち、包括公表となる事例は下記のとおりです。

記

医療行為別	事例	防止策
治療・処置	・自身で立位をとれない患者に対するリハビリテーション中、患者の保護者と共同して立位保持練習を行っている際に骨折が発生した。	・患者の保護者と共同して患者に立位を取らせる際は、保護者に対する介助の力加減についての指導を徹底する。

○岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター医療事故など包括公表について

当センターの公表基準に基づき、平成29年10月16日（当センターにおける医療事故公表基準施行日）から平成31年3月31日までに当センターで発生した医療事故のうち、包括公表となる事例は下記のとおりです。

記

医療行為別	事例	防止策
治療・処置	股関節の変形が強い患者さんに対するリハビリにおける関節可動域訓練中に骨折が発生した。	<ul style="list-style-type: none">・医療事故防止マニュアルに「骨折防止」の項目を新たに設置・定期的にスクリーニング項目のチェックを行い、骨折リスクについて確認・リハビリにおいて、複合的な運動を避けること